

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

去る1月1日に発生した能登半島地震において、尊い命が失われ、大変な苦しみが続いている被災地の皆様に、深い哀悼の意を表しますとともに、心からお見舞いを申し上げます。

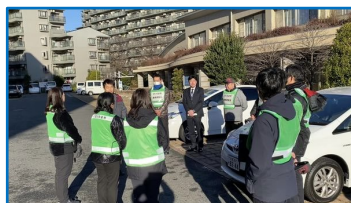
本市では、1月2日の新潟市への水道局職員の派遣を始めとして、七尾市、輪島市などに職員を派遣し、支援に当たっております。共に力を合わせ、助け合いながらこれからの困難に立ち向かっていかなければなりません。

さいたま市では、発災直後より関係部局において、情報収集及び支援体制の構築を行って参りました。甚大な被害により長期的な支援が必要である被災地の状況を鑑み、さいたま市一丸となって情報共有を行い、ニーズに対応したきめ細やかな支援体制を取るため、1月16日にさいたま市地域防災計画に基づいて「さいたま市支援対策会議」を設置しました。



【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
昨年5月の選挙では、過去最多得票と得票率で当選。共栄大学客員教授、指定都市市長会副会長も務める



これまでは所管部局において、それぞれ被災地支援を実施していましたが、今回「支援対策会議」を設置し、全庁的な情報共有や課題抽出等を行うことで、より迅速により効果的な支援が可能になると考えています。



第一回目のさいたま市支援対策会議では、現在進めている各担当部署における「被災地からの支援要請の有無とその対応」、「関係機関からの支援要請の有無とその対応」、「支援内容の決定」、「支援要請がない場合の処置や実施の方法」、「支援を有効にするための的確な実施時期や手順」等について協議しました。

今後も本市では、全庁一丸となって、被災自治体に寄り添い、必要な支援を的確かつ効果的に実施してまいります。

